

災害なんかに負けない地域をつくらう！

熱田区千年学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、千年学区の住民が、お住まいの地域の危険箇所や避難経路などについて話し合い、作成したものです。
この震災避難行動マップをもとに、“いざ”という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

役に立つもの

1. コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。
災害時避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

2. 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

3. 公衆電話

NTT が設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。
ただし、国際電話は使えません。

4. 災害救援自動販売機

対象となる自動販売機には、停電時でも飲料提供ができることが説明された看板がついています。

5. 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。
避難所のトイレ不足を補います。



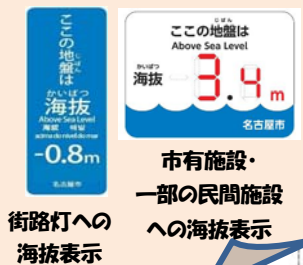
このマンホールが目印です。たいてい仮設トイレが設置されています。

町内会の一時集合場所

知っておこう！お住まいの地域の高さ

～海拔表示について～

名古屋市では、津波の影響が心配される地域に海拔表示を実施しています。普段からお住まいの地域の海拔を意識しておき、いざという時、迅速に避難できるよう備えておきましょう。



街路灯への海拔表示

市有施設・一部の民間施設への海拔表示



(5) 愛知機械工業(株) 体育館

愛知機械工業(株) 熱田工場

ソレイユかどや 海拔 0.6m

(2) 熱田高等学校 海拔 1.0m

(3) 千年コミュニティセンター 海拔 0.1m

(4) ㈱服部組 海拔 1.0m

(1) 千年小学校 海拔 0.1m
災害救助地区本部

国道は標高 1m
津波が来た場合は、国道に避難する

南一丁目
どんでり広場
大規模な集会場

電柱の倒壊注意
電線が断れる

道路が水没する
歩行者は危険

避難所一覧

- (1) 千年小学校
- (2) 熱田高等学校
- (3) 千年コミュニティセンター
- (4) ㈱服部組
- (5) 愛知機械工業(株)体育館

津波避難ビル一覧

- ① 千年小学校
- ② ソレイユかどや
- ③ ㈱服部組

堤防が低いので注意！
津波が来た場合は、堤防に近づかないで、速に避難する



気を付けて！！

1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

3. 狭い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

4. 電線

切れた電線は停電時でも感電の危険があるので、絶対に近づかない

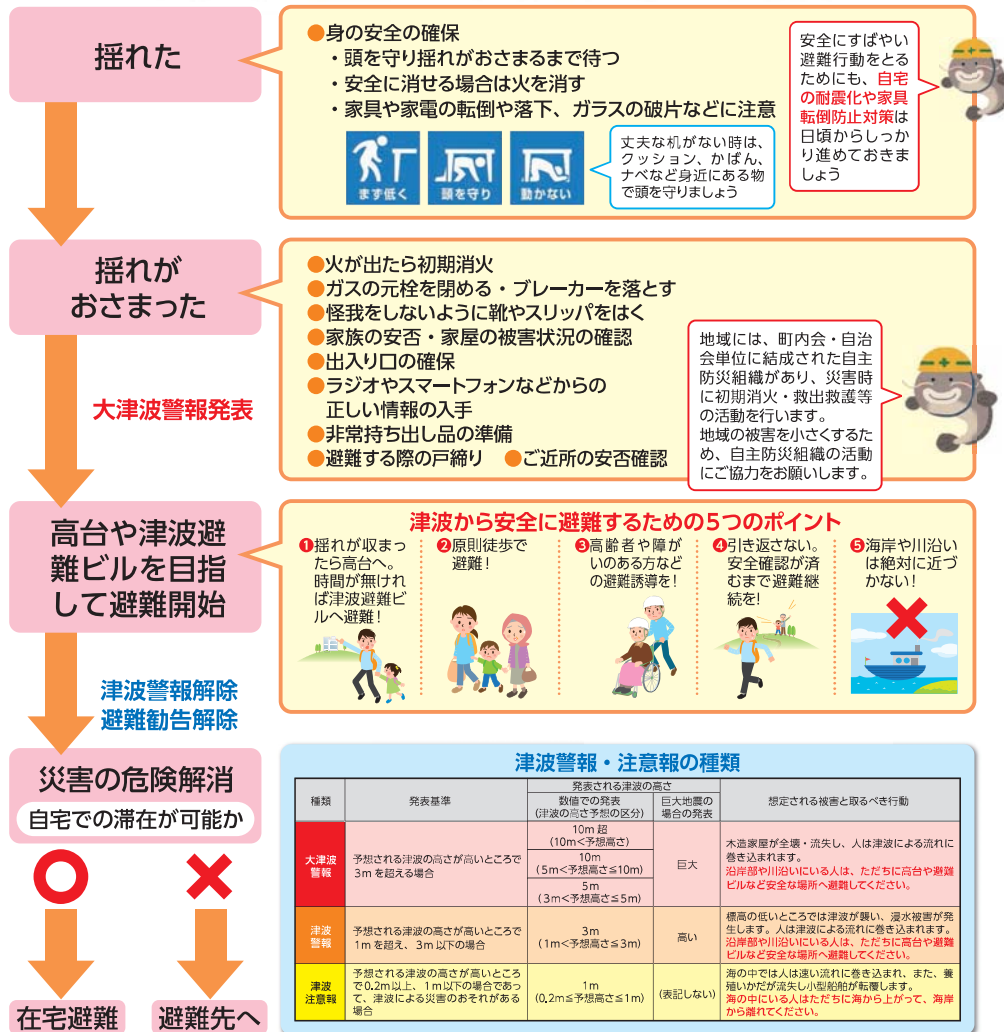
凡例

広域避難場所	主として地震火災が延焼拡大した場合に、周辺地域の避難者が身を守るための空間を有している公園等です。	避難所	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被害を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。
津波避難ビル	地域防災協力事業所	地下式給水栓	公衆電話
一時集合場所	下水道直結式仮設トイレ (マンホールトイレ)	街頭消火器	防災スピーカー
防災倉庫	AED (自動体外式除細動器)	応急給水施設	学区境 避難経路の例

熱田区千年学区 災害時の特性と対策

南海トラフ巨大地震が発生した場合、名古屋市中でも比較的強い**震度6強**の揺れが想定されます。まずは身を守りましょう。このときに怪我をしないよう、日頃から家具の転倒防止などの耐震対策に努めましょう。また、津波が他の地区よりも早く来ます。名古屋港への津波（30cm）の到達時間は96分と予測され、当地区では**2時間以内に浸水**が始まります。この時間を最大限に使い、川沿いから遠ざかるようにして高台が津波避難ビルへ避難しましょう。また、**液状化現象**が起きる可能性が高い箇所がいくつかあります。建物が傾いたり、路上に泥水が溢れ出し、通ることができなくなります。これらを踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ考えておきましょう。

地震発生！ 災害時の対応



一人では逃げるのが難しい方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人では逃げるのが難しい方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)



移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)



避難の時の豆知識 非常持ち出し袋を準備しましょう！

避難する時に持っていくもの

防災用品 □ 携帯ラジオ □ ヘルメット・防災ずきん □ 軍手 □ マスク	照明等 □ 懐中電灯(電池含む) □ マッチ・ライター	食器類 □ はし・スプーン □ 紙皿・紙コップ	衣料品 □ 衣類(着替え) □ タオル(大小2種類)
貴重品 □ 現金(小銭も必要) □ 預(貯)金通帳の写し □ 健康保険証・免許証の写し □ カード類 □ 認印・印鑑など	医療用品 □ 三角せん □ 包帯・ガーゼ □ ばんそうこう □ 消毒薬 □ ウェットティッシュ(ティッシュ) □ お薬手帳の写し	便利用品 □ 筆記用具 □ 新聞紙 □ 携帯用トイレ □ ゴミ袋 □ キッチン用ラップ □ 使い捨てカイロ □ 雨具 □ 手動携帯電話充電器	ゴミ袋をカッパに 新聞を体にまいて防寒 日頃から水や食料を準備しておきましょう。めがね・入れ歯・持病の薬も忘れずに！ ラップをお皿に置いて節水

住民からのメッセージ

